

別紙1-2 取り扱う暗号資産の概要

No.	記載すべき項目		留意点	BTC	XEM	MONA	BCH	ETH		
	大項目	中項目							小項目	
1	暗号資産の概要	名称(略称)	暗号資産の名称並びに略称を記載	・グローバルで利用されている場合には、その名称と略称を記載 ・独自通貨の場合には、個別の名称と略称を記載	ビットコイン	ネム	モナコイン	ビットコインキャッシュ	イーサリアム	
		通貨単位名称	通貨単位で利用する名称を記載	・グローバルで利用されている場合には、その単位名称 ・独自通貨の場合は個別単位名称	BTC	XEM	MONA	BCH	ETH	
		最低取引単位	取引単位の最低数量を数値で記載	・0.0000001BTC等	0.001BTC	0.1XEM	1MONA	0.001BCH	0.001ETH	
		決済性:代金の弁済のために不特定の者に対して使用することができる(1号暗号資産との交換で代替可)	暗号資産で支払う事が可能な店舗	・発行者が使用可能な店舗等を管理していないか	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し
			その他、制限事項等	・代金の弁済のために暗号資産を使用可能な店舗等が限定されていないか	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		売買可能性:不特定の者を相手方として購入及び売却を行うことができる(1号暗号資産との交換で代替可)	売買可能な法定通貨の種類	・発行者による制限なく、本邦通貨又は外国通貨との売買を行うことができるか	「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ
			売買市場の有無	・本邦通貨又は外国通貨との売買が行える市場が存在するか	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している
		売買可能な最小数量	他通貨との売買が可能な最小数量を記載	・0.001BTC	0.001BTC	0.1XEM	1MONA	0.001BCH	0.001ETH	
			認証の仕組み	・当該暗号資産を売買する際の認証方法並びに仕組み等	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確認する。	PoI(Proof of Importance)により行う。ビットコインのPoW(Proof of Work)や、イーサリアムのPoS(Proof of Stake)の弱点を補う方式。PoIは、XEMの保有量と取引量、すなわち経済的重要性が高まることで報酬を獲得できるという考え方である。	ブロックチェーンのデータベースをネットワーク参加者全員(全ノード)が同一コピーを保持し、新たな記録が追加される度に全ノードのコピーが更新される仕組み。	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確認する。	複数の取引をひとかたまりのブロックとして、一定数のブロックが連続することにより、ブロックに含まれる取引を認証する。	
		「プリペイドカード」やポイント・サービスにおける「ポイント」に該当しない事	その他、制限事項等	・原則、該当しない	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
			その他、制限事項等	・他通貨との換金並びに交換に伴う制限事項を記載	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		交換可能性:不特定の者を相手方として相互に交換を行うことができる(1号暗号資産との交換で代替可)	交換可能な暗号資産の種類/名称	・1号暗号資産との交換市場が存在するか ・暗号資産の特性	当社においては暗号資産(モナコイン、ビットコインキャッシュ、フィスココイン、カイクコイン、ネクスコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在
			その他、制限事項等	・発行者による制限なく、1号暗号資産との交換を行うことができるか	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		ネットワーク上での移転可否	パブリック/プライベートネットワークを利用した移転が可能である事	・移転可能である ・交換する場合の仕組み	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可
		通貨建て資産の適用有無	通貨建て資産ではない事	・通貨建て資産ではない根拠または説明	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし
		形式	パブリック型	・発行者もしくは発行体による恣意的なコントロールが可能か	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型
			プライベート型 コンソーシアム型	・暗号資産の発行方法	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型
		機能性	通貨以外の機能がある場合には、その詳細内容	・2号暗号資産に該当する場合、元となる暗号資産の名称を記載	該当なし	アポストリーユ(Apostille)という、公証サービスの機能がある。土地や自動車の所有権の登記、契約書やメールなどのタイムスタンプ記録、売上データなどを記録して、公証に用いる。	該当なし	該当なし	該当なし	スマートコントラクトにて、任意のコードを実行させることが可能。これにより、契約行為などを自動的に実行させることができる。昨今ではゲームなどにも利用されている。
		適切性	販売方法等	・業者側が価格を決めるものではないか	【簡単売買】他の暗号資産取引所が提示した複数の売付け及び買付けの気配を基に価格を算出 【取引所取引】当該取引所の取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当該取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【簡単売買】他の暗号資産取引所が提示した複数の売付け及び買付けの気配を基に価格を算出 【取引所取引】当該取引所の取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当該取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当該取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当該取引所での取引価格を基に提示価格を算出
		発行者の有無(ある場合に記載)	発行する事業者の開示情報	・暗号資産を発行する事業者情報の開示レベル、発行者の信用情報 ・発行者が無い場合には仕組み、利用者保護等の措置等の注意事項 ・コンソーシアム型の場合、運営主体の意思決定・運営の方針、パブリック型の場合でも、仕様決定・変更についての制約(オープンソースにせよ、最低限のルールはあるはず)を開示した方がよい	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし
発行する事業者の信用情報										
2	想定される用途	暗号資産を利用する際のサービス等	利用用途	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能		
3	流通状況	総発行量	直近での総発行量							
		発行可能上限数量	発行可能な数量の上限							
		一単位あたりの価値	直近での一単位あたりの価値	・時点換算での数値を記載 ・円貨での記載となるため、外貨を結ぶ場合には円貨になる根拠を明記 ・発行可能上限数量があればその情報、数量の増加要因 ・(協会等)で3ヶ月毎に更新し、常に最新に近い状況を公表する	(2017/6/22時点) ・直近総発行量:約1640万BTC ・発行可能上限:約2100万BTC ・単元当たりの価値:約30万円 ・市場での時価総額:約4.9兆円 ・海外での流通状況:50箇所以上 ・主要な保有の状況:不明	(2019/1時点) ・直近総発行量:8,999,999,999XEM ・発行可能上限:8,999,999,999XEM ・単元当たりの価値:約6円 ・市場での時価総額:約54億円 ・海外での流通状況:国内外の取引所で取り扱われている ・主要な保有の状況:不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量:約5145万MONA ・発行可能上限:約1億512万MONA ・単元当たりの価値:77円 ・市場での時価総額:約40億円 ・海外での流通状況:1箇所以上 ・主要な保有の状況:不明	(2017/8/13時点) ・直近総発行量:約1648万BCH ・発行可能上限:約2100万BCH ・単元当たりの価値:約3.6万円 ・市場での時価総額:約5500億円 ・海外での流通状況:国内外の取引所で取り扱われている ・主要な保有の状況:不明	(2019/1時点) ・直近総発行量:104,378,861ETH ・発行可能上限:- ・単元当たりの価値:約14,000円 ・市場での時価総額:約1兆4,600億円 ・海外での流通状況:国内外の取引所で取り扱われている ・主要な保有の状況:不明	
		市場での時価総額(円貨)	直近での時価総額							
		海外での流通状況	海外の取引所で扱われている場合には、その状況等							
		主要な保有の状況	直近でのアドレス別大量保有一覧(上位20) 直近での総口座数(確認可能な場合)							
		過去に発生した不具合情報		・多数の記録者が結託し、あるいは既存の記録者が有する処理能力合計よりも強力な能力を用いることによって、記録台帳が改ざんされ、また発行プログラムが改ざんされるリスクがある。 ・第三者に秘密鍵(暗号鍵)を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示が行われるリスクがある。 ・ハードフォークにより分岐したブロックの一方が否決された場合、否決されたブロックに収録された取引は再び認証を得なければ、次の送金が行えなくなるリスクがある。さらに、記録者の目に留まらず、未承認データのまま放置されるリスクがある。 ・未検出のプログラムの脆弱性やプログラム更新などにより新たに生じた脆弱性を利用し、データが改ざんされ、また価値移転の記録が異常な状態に陥る可能性がある。 ・Mt.Goxというビットコインを取り扱っていた取引所(交換所)がハッキング被害を受け、ビットコインやユーザー情報、パスワードが盗難され約1週間取引が停止されたという事件が生じている。この影響で、連鎖的に他の取引所からもビットコインの盗難が発生し、ビットコイン価格が著しく下落したことがある。今後同様の事件が生じ、それによりビットコインが盗難され、又はその価格が著しく下落するリスクがある。						
不具合情報	将来で発生する可能性があるリスク等	・公開すべき不具合のレベルを決める必要あり ・該当通貨のセキュリティ監査の実施状況		当社にて現時点では確認できず	当社において現時点では確認できず	・ビットコインブロックチェーンから分岐した新たなブロックチェーン上のトークンであるため、左記のビットコインのリスクが妥当する。	当社にて現時点では確認できず			
4	プログラムの内在リスク等	過去のアップデート履歴		2013年3月11日にビットコインのバージョン0.8.0のバグにより、実質的に初めてブロックチェーンの分岐(ハードフォーク)が発生した。この問題は0.8.1へのバージョンアップによりすぐに修正された。 2017年8月1日にビットコインブロックチェーンから分岐した新たなブロックチェーン上のトークン(Bitcoin Cash)が生まれている。						
		今後のアップデート予定				2017年4月にSegregated Witness(Segwit)を採用するブロックチェーン上のトークンが可決が行われ、有効化されている。	・ビットコインにおける記載を参照のこと。	2019/11にMetropolisのConstantinople(コンスタンティノーブル)が実施予定【簡単に実施できる仕組みづくりやマイニング難易度の強化などを目的】Serenity(時期未定)にて、POWからPOSへの移行が実施される。		

別紙1-2 取り扱う暗号資産の概要

No.	記載すべき項目		ZAIF	XCP	FSCC	CICC	NCXC	JPYZ			
	大項目	中項目							小項目		
1	暗号資産の概要	名称(略称)	暗号資産の名称並びに略称を記載	Zaifトークン	CounterPartyトークン	フィスココイン	カイカコイン	ネクスコイン	Zen		
		通貨単位名称	通貨単位で利用する名称を記載	ZAIF	XCP	FSCC	CICC	NCXC	JPYZ		
		最低取引単位	取引単位の最低数量を数値で記載	0.1ZAIF	0.1XCP	0.1FSCC	0.1CICC	0.1NCXC	0.0001JPYZ		
		決済性:代価の弁済のために不特定の者に対して使用することができる(1号暗号資産との交換で代替可)	暗号資産で支払う事が可能な店舗	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	第1フェーズにおいて使うことができる企業はBCCC会員企業のみ ※ https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056.000012906.html
			その他、制限事項等	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	同上
		売買可能性:不特定の者を相手方として購入及び売却を行うことができる事(1号暗号資産との交換で代替可)	売買可能な法定通貨の種類	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ
			売買市場の有無	「Zaif」でのみ取り扱われている	複数の取引市場が存在している	「Zaif」でのみ取り扱われている	複数の取引市場が存在している	「Zaif」でのみ取り扱われている	複数の取引市場が存在している	「Zaif」でのみ取り扱われている	複数の取引市場が存在している
			売買可能な最小数量	0.1ZAIF	0.1XCP	0.1FSCC	0.1CICC	0.1NCXC	0.0001JPYZ		
			認証の仕組み	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるブルーフォークによって価値移転認証が行われる)
		「プリペイドカード」やポイント・サービスにおける「ポイント」に該当しない事	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
			その他、制限事項等	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
		交換可能性:不特定の者を相手方として相互に交換を行うことができる(1号暗号資産との交換で代替可)	交換可能な暗号資産の種類/名称	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	
			その他、制限事項等	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
		ネットワーク上での移転可否	パブリック/プライベートネットワークを利用した移転が可能である事	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	第1フェーズにおいてはプライベートネットワークで移転可	
		通貨建て資産の適用有無	通貨建て資産ではない事	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	
		形式	パブリック型 プライベート型 コンソーシアム型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	第1フェーズにおいてはプライベート型	
		機能性	通貨以外の機能がある場合には、その詳細内容	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
		適切性	販売方法等	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品がフィスココイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品がカイカコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所外取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品がネクスコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所外取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出		
発行者の有無(ある場合に記載)	発行する事業者の開示情報	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし			
	発行する事業者の信用情報	発行者:株式会社フィスコ プロトコル:カウンターパーティー 発行枚数:8,999,999,999ZAIF	発行者:株式会社フィスコ プロトコル:カウンターパーティー 発行枚数:5000FSCC(ロック済み)	発行者:株式会社カイカ プロトコル:カウンターパーティー 発行枚数:3億CICC(ロック済み)	発行者:株式会社ネクスグループ プロトコル:カウンターパーティー 発行枚数:2000WNCXC(ロック済み)	発行者:株式会社Zen プロトコル:カウンターパーティー 発行枚数:2億2千5百万ZEN					
2	想定される用途	暗号資産を利用する際のサービス等	利用用途	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能		
3	流通状況	総発行量	直近での総発行量	(2019/1時点) ・直近総発行量:8,999,999,999ZAIF ・発行可能上限:8,999,999,999ZAIF ・単元あたりの価値:約0.15円 ・市場での時価総額:約13億5000万円	(2019/1時点) ・直近総発行量:約2,615,828XCP ・発行可能上限:- ・単元あたりの価値:約210円 ・市場での時価総額:5億5000万円	(2017/6/22時点) ・直近総発行量:5000WNCXC ・発行可能上限:5000WNCXC ・単元あたりの価値:36.9円 ・市場での時価総額:約18.4億円 ・海外での流通状況:不明 ・海外での流通状況:不明 ・主要な保有の状況:不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量:3億CICC ・発行可能上限:3億CICC ・単元あたりの価値:14円 ・市場での時価総額:約42億円 ・海外での流通状況:不明 ・海外での流通状況:不明 ・主要な保有の状況:不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量:2000WNCXC ・発行可能上限:2000WNCXC ・単元あたりの価値:288.9円 ・市場での時価総額:約57.7億円 ・海外での流通状況:不明 ・海外での流通状況:不明 ・主要な保有の状況:不明	(2019/1時点) ・直近総発行量:2億2千5百万ZEN ・発行可能上限:- ・単元あたりの価値:1円 ・市場での時価総額:2億2500万円 ・海外での流通状況:ブロックチェーン推進協会(BCCC)会員が提供する取引所において取引可能 ・主要な保有の状況:不明		
		発行可能上限数量	発行可能な数量の上限								
		一単元あたりの価値	直近での一単元あたりの価値								
		市場での時価総額(円貨)	直近での時価総額								
		海外での流通状況	海外の取引所で扱われている場合には、その状況等								
		主要な保有の状況	直近でのアドレス別大量保有一覧(上位20) 直近での総口座数(確認可能な場合)								
4	プログラムの内在リスク等	過去に発生した不具合情報									
		不具合情報	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、左記「カウンターパーティー」(カードコインサービス)において構築されているため、カウンターパーティーのサービスに何らかの障害が発生した場合には、その影響を受けるリスクがある。 ・カウンターパーティーが撤退する場合には、左記「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。) ・XCPはカウンターパーティーのネットワーク上で発行される。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・XCPはカウンターパーティーのネットワーク上で発行される。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカードコインサービスにおいてフィスココインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合には、その影響を受けるリスクがある。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカードコインサービスにおいてカイカコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合には、その影響を受けるリスクがある。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカードコインサービスにおいてネクスコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合には、その影響を受けるリスクがある。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティー」と呼ばれるカードコインサービスにおいてZenコインが構築されている。そのため、カウンターパーティーが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合には、その影響を受けるリスクがある。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)			
非互換性のアップデート(予定)情報(ハードフォーク/ソフトフォーク)	過去のアップデート履歴 今後のアップデート予定	・カウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・カウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・フィスココインを含むカウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・カイカコインを含むカウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ネクスコインを含むカウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・Zenコインを含むカウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。 ・XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)				

取り扱う暗号資産の概要 (COMSA)

記載すべき項目			当該暗号資産の概要	
大項目	中項目	小項目		
暗号資産の概要	名称 (略称)		COMSA	
	通貨単位名称・最低取引単位		10CMS以上、0.0001CMS単位	
		売買市場の有無		平成29年12月4日にZaif取引所で上場
		記録されている財産的価値		ブロックチェーン
		認証の仕組み (認証方法)		NEMおよびEthereum上で発行されるトークンにて、認証の仕組みはNEMおよびEthereumと同じ。
	発行方法		トークンセール終了時、トークンセール参加者分と同数のトークンを足した数を以って、総発行数はそこでロックされる。ビットコインのマイニングにあたるものではなく、コインの新規発行はない	
	発行者の有無 (ある場合に記載)	発行する事業者の開示情報		テックビューロ株式会社
発行する事業者の信用情報				
暗号資産の概要	発行可能上限数量	平成30年11月22日時点で発行が可能な数量の上限	219,042,298.00 CMS	
	一単元あたりの価値	平成30年11月22日時点での一単元あたりの価値	1CMS (XEM)=¥6.40 1CMS (ETH)=¥6.38	
	市場での時価総額 (円貨)	平成30年11月22日時点での時価総額	1,401,870,707.2円 (1CMS (XEM)=¥6.40) 1,397,489,861.24円 (1CMS (ETH)=¥6.38)	
	総発行量	平成30年11月22日時点での総発行量	219,042,298.00 CMS	
	総発行量のうち発行者等*の保有量**	※ 発行者等とは、発行者、当社、発行者及び当社の関係会社、これらの役員、従業員及び株主、並びに当該暗号資産の発行・運営に従事している者。以下同 ※※ 発行者等の保有分はすべて無償発行 平成29年11月30日時点	98,569,034.59 CMS	
	総発行量のうち第三者 (発行者等を除く。以下、同) に無償発行した量	平成29年11月30日時点	10,952,114.85 CMS	
	総発行量のうち、販売もしくは第三者に無償発行した量	平成29年11月30日時点	120,473,263.41 CMS	
	総発行量のうち販売に供した量に対する払込総額 (払込みがなされた法定通貨の額、並びに、払込みが暗号資産で行われた場合には当該暗号資産の総数及び当該暗号資産の総数を円に換算した金額)		8,712.56 BTC 65,015.14 ETH 85,848,598.10 XEM 2,867,750,191.65 ZAIF 2017年11月6日 14:00時点でのレート換算 (JPY) BTC : 7,076,579,607.64 ( 812,227.36 JPY/ 1 BTC) ETH : 2,208,949,195.43 ( 33,975.92 JPY/ 1 ETH) XEM : 1,862,914,578.77 ( 21.7 JPY/ 1 XEM) ZAIF : 1,276,722,385.32 ( 0.4452 JPY/ 1 ZAIF) 合計 : 12,425,165,767.16 (JPY)	
	総発行量のうち販売もしくは第三者に無償発行した量に対する払込み等の状況 (払込価格が複数ある場合には、当該払込価格毎に記載)		①以下2つの期間で実施 プレセール期間 : 2017年9月11日 (月) 14時00分~2017年9月20日 (水) 14時00分 トークンセール期間 : 2017年10月2日 (月) 14時00分~2017年11月6日 (月) 14時00分 (プレセール及びトークンセールの他に実施のセールなし)	
	①払込期間 ②払込みがなされる 1 COMSAあたりの価格 ③払込の総額 (払込みがなされた法定通貨の額、並びに、払込みが暗号資産で行われた場合には当該暗号資産の総数及び当該暗号資産の総数を円に換算した金額) ④当該発行暗号資産の付与数 ⑤譲渡に制限等がある場合、その内容		②払い込み後、COMSAダッシュボードシステム内で着金が確認された時点での各暗号資産とUSDのレートを基準に 1USD=1CMS として算出 ③④別添資料(1)参照 ⑤販売もしくは第三者に無償発行した量に対する譲渡制限なし	
プログラムの内在リスク等	不具合情報	過去に発生した不具合情報	当社にて現時点では確認できず	
		将来で発生する可能性があるリスク等		
	非互換性のアップデート (予定) 情報 (ハードフォーク/ソフトフォーク)	過去のアップデート履歴 今後のアップデート予定	特になし。	